

2023 家族でかくにん！

ふくい わが家の ぼうさいコンテスト 入賞作品集



もしものときに備え、家族で話し合おう！

主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会
特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

本コンテスト等は、国土交通省の「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会において取り組む施策としています。

も く じ

2 入賞者一覧

3 審査委員名列

審査講評

審査委員長
福井工業高等専門学校
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

5 最優秀賞 作品紹介

福井市木田小学校6年 齊藤 瑠依さん

7 優秀賞 作品紹介

福井市清水西小学校5年 田中 乃愛さん

8 優秀賞 作品紹介

福井市和田小学校5年・2年 田中 優月さん・康治さん

9 JA 共済連福井本部長賞 作品紹介

福井大学教育学部附属義務教育学校4年(福井市) 中山 帆菜さん

10 NHK福井放送局長賞 作品紹介

福井市清水西小学校6年 齊藤 快翔さん

11 福井新聞社長賞 作品紹介

勝山市荒土小学校6年 長尾 理愛さん

12 入選作品の紹介

17 奨励賞作品の紹介

2023 家族でかくにん! ふくいわが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



福井市木田小学校6年
齊藤 瑠依さん



福井市清水西小学校5年
田中 乃愛さん

福井市和田小学校5年・2年
田中 優月さん・康治さん



福井大学教育学部附属
義務教育学校4年(福井市)
中山 帆菜さん



福井市清水西小学校6年
齊藤 快翔さん



勝山市荒土小学校6年
長尾 理愛さん



福井市円山小学校2年
牧田 樹莉さん

福井市社北小学校6年
立野 麗衣さん

福井市清水西小学校4年
村上 心優さん

坂井市平章小学校6年
東 津稀乃さん

坂井市春江西小学校6年
吉村 奈々さん

勝山市荒土小学校6年
平鍋 安胡さん

越前市吉野小学校6年
福田 陽菜さん

越前市大虫小学校6年
川端 莉子さん

敦賀市中央小学校2年
上の の花さん

永平寺町志比小学校4年
山岸 柚貴さん



福井市豊小学校3年
川端 佑芽さん

福井市順化小学校2年
藤本 ちなみさん

福井市社北小学校6年
山田 媛さん

福井市社南小学校6年
藪根 鈴子さん

福井市橐小学校4年
小林 愛奈さん

福井市美山啓明小学校3年
横山 悠大さん

福井市清水西小学校6年
橋本 泰地さん

坂井市雄島小学校4年
中村 葉さん

坂井市三国西小学校6年
高橋 杏奈さん

坂井市三国西小学校6年
刀祢 心春さん

坂井市平章小学校4年
高橋 都歌さん

坂井市平章小学校6年
宮村 龍さん

坂井市平章小学校6年
山田 莉愛奈さん

坂井市平章小学校5年
高島 愛咲さん

坂井市平章小学校5年
東平 愛梨さん

鯖江市北中山小学校5年
川端 千陽さん

鯖江市北中山小学校5年
田中 結士さん

越前市大虫小学校6年
河嶋 莉子さん

越前市大虫小学校6年
上嶋 寿幸さん

越前市大虫小学校6年
奥山 遥音さん

越前市大虫小学校6年
牧野 永愛さん

勝山市荒土小学校6年
木下 実緒さん

永平寺町上志比小学校4年
安部 こころさん

南越前町南条小学校4年
小谷 和奏さん

審査委員名列

審査委員長	辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員	竹田 周平氏	福井工業大学 工学部建築土木工学科教授
	橋本 亮氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
	渡辺 真二氏	気象庁福井地方気象台長
	平林 透氏	福井県土木部副部長
	原田 太輔氏	若狭町環境安全課防災対策室長
	岡本 寛紀氏	JA共済連福井本部長
	久代 雄一郎氏	NHK福井放送局長
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業統括本部長



審査講評

〈審査委員長〉 辻子 裕二氏



記念すべき第10回目の「わが家のぼうさいコンテスト」への応募作品数は155点でした。昨年と比べ作品数は増加し、応募校数は23校と過去最大を記録した昨年度の25校に近づく結果となりました。県下小学校の8校に1校程度は本コンテストにご応募いただいたことになります。当然のことながら、作品づくりには家族を含めた多くの方々の協力が欠かせません。関わられた皆さまのご尽力に敬意を表する次第です。

さて、昨年8月に県内で大雨による災害が発生したことは記憶に新しいところです。災害後に「あの時こうしておけばよかった」との思いを抱いた経験がある人も多いかと思いますが、とくに進行型災害に対しては、発災まで時間があるが故にその思いも強いのではないのでしょうか。これを象徴するかのように、本年度は「地震」より「大雨」をハザードにした作品が多かったようです。また、作品の中に「タイムライン」という言葉が多く確認できたのも今回の特徴として挙げられます。国連の事務総長によれば「地球は沸騰化の時代に入った」とのことです。沸騰化の時代の気象下では、これまで経験していない出来事が発生することもあるでしょう。未知の災害に備え、災害発生後にタイムラインを見直し、その際の防災行動を検証する作業は各家庭の防災・減災に大いに役立つはずです。それが理解されているかのように、本

年度の応募作品の中には、過去の災害を振り返りながら今後に備えるプロセスを記載している事例が見られました。

また、第4回目となる「わが町の防災コンテスト」には、今回14団体の応募がありました。審査においては、当該組織の活動実績の中で見出される実効性・独自性・継続性に着目しております。連続してコンテストに応募されている団体もあり、その活動が毎年積み上げられブラッシュアップされている様子を伺うことができました。毎年活動を積み上げる姿勢・体制は、防災活動を継続する上で貴重な要素です。そのような団体の活動成果を参考にする事で、今回応募には至らなかった団体におかれても活動の目安となる貴重な情報を得ることができるものと考えます。

「わが家のぼうさいコンテスト」は平成16年福井豪雨後10年目となる2014年に第1回が開催されました。以降、当コンテストはコロナ禍を挟みながらも継続し、今回第10回目を迎えることとなりました。自主防災組織が法律で示される前から自衛の防災組織があったように、防災活動が継続されることは歴史上必然なのだと思います。しかし、現実問題として地球温暖化や少子高齢化がその必然性を阻害しようとしているのも事実です。当コンテスト（成果）の共有がそれらの問題を少しでも軽減するものと自負しております。持続可能な福井の防災に資するために、当コンテストマインドの更なる広がりを期待しております。

2023 家族でかくにん！

ふくい わが家のぼうさいコンテスト

入賞作品集



表彰式で辻子審査委員長（左）から表彰を受ける最優秀賞の齊藤瑠依さん
＝2023年10月29日、福井新聞社・風の森ホール



作品で工夫した点などの質問に応える上位受賞者



壇上に並ぶ入選の受賞者



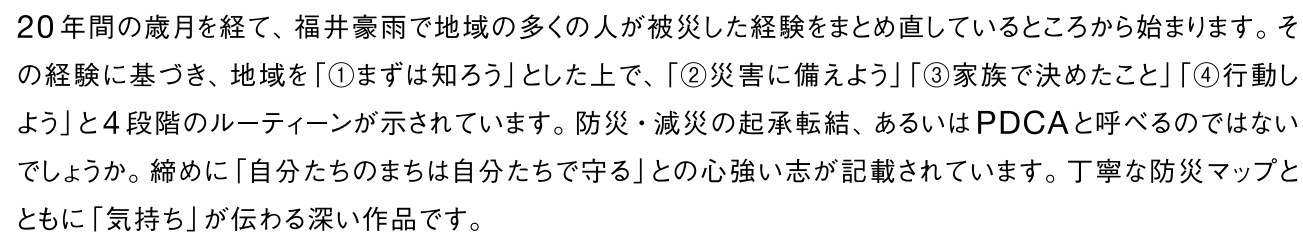
壇上に並ぶ奨励賞の受賞者



親子で取り組んだ児童の力作が並ぶ作品展

A portrait of a young girl with dark hair and bangs, wearing a dark blue V-neck school uniform over a white collared shirt. A large red flower is pinned to her left chest. She is looking directly at the camera with a neutral expression.

防災マップに取り組んで、私の家は水害時は在宅避難地域で、家にいてもよい場所だと分かりました。でも災害が起きる前には「非常用持ち出し品」「備蓄品」を用意し、災害に備えようと考えました。福井豪雨を振り返り、減災には地区の避難訓練に参加したり、日ごろから災害が起こった時のことを考えたりして行動したいと思いました。もし、災害が起きても、私が自分の命と家族の命を守りたいです。





福井市清水西小学校5年
田中 乃愛さん

講評〈審査委員長〉

2023年7月に発生した大雨の経験を経て、その際の「緊迫した様子(恐怖感)」や「振り返りの様子」を丁寧にまとめています。題材にした大雨に限らず、地震や土砂などに対しても検討結果(判定結果)が示されています。また、祖父・祖母への避難時の留意事項や、ペットのケアについても触れられています。とくに、マイハザードマップが分かりやすく描かれており、参考とする良い事例になるのではないでしょう。



受賞者コメント

今年は家族で「わが家のマイタイムライン」を考えました。家族があわてないように、どんな風に声をかけたらいいのか、何をかくにんすればいいのかを書き入れました。また、清水西公民館で行われた「防災キャンプ」に実際に参加して学んだことをまとめたり、写真をはって仕上げました。

わが家の防災コンテストを通して、ふだんから防災について考えるようになり、備えることの大切さに気付きました。わが家だけの防災ではなく、私の住んでいる清水西地区を守る、守れるように、これからも防災の大切さを発信していけたらと思います。そのためにも、ふだんから、地域の人にあいさつをしたり、声をかけて話をしたりするなど、コミュニケーションを深めていきたいです。



福井市和田小学校5年・2年
田中 優月さん・康治さん

講評〈審査委員長〉

災害時を想定し、自宅で「マイホームサバイバル」を体験しています。当然そこに公助はなく、避難所で当たり前のように提供されるものも自分で用意する必要があります。作品中には、この経験で明らかになった在宅避難の課題が示されています。同様な状況下にある方々の良い見本となることでしょう。最後に、「フェーズフリー」を使って合言葉をつくり、防災には決断と行動が大切であると強調されています。



受賞者コメント

昨年は昔住んでいた小浜市の津波をテーマにしました。今年は記録的な大雨が多く、今住んでいる福井市で水害が起きた時の行動について家族で考えました。

ハザードマップと防災センターの強風体験から、わが家にとってのベストな避難のタイミングと避難場所を決めることができました。もし、安全に避難ができない場合、家で数日生き抜かなければなりません。その場合、水や電気の節約や確保、災害用トイレや食事づくりなど、いつもと違う方法で生き抜く必要があります。たださえ、災害時は不安やストレスが多い状況です。ふだんから使いなれたものや食べ物を準備したり、災害用トイレや停電をイメージして訓練しておく、災害時でもあわてず、少しでも安心して避難生活ができると思います。災害が起きても、安全に命を守る行動を取りたいと思いました。





福井大学教育学部附属
義務教育学校4年（福井市）

中山 帆菜さん

講評〈審査委員〉

大雨が発生した際の実体験をもとに、よく考えがまとめられています。災害時、実際に自分がとった行動や周りの様子、消防士や、過去に災害を体験しているお年寄りの話などから災害時の正しい行動はもちろんのこと、日常的な備えまでまとめられていて、自分事として捉えられていることが伝わりました。避難場所についても、家族と話合ってからかじめ決めておくという点も素晴らしいですね。



福井市清水西小学校6年

齊藤 快翔さん

講評〈審査委員〉

自宅前の用水路が大雨であふれた経験から、近所の危険箇所や防災施設をていねいに調べ、地図上に分かりやすく示しています。また、使うことが少なくなった公衆電話からテレホンカードや硬貨で実際に電話のかけ方を確認しています。携帯電話の電話帳機能の普及で家族の電話番号を覚えていないことも多い中、非常時に備え、実際に家族・親戚の電話番号を確認しておくことは大変重要だと考えます。



受賞者コメント



今年の夏、明け方にわが家のとなりの川がはらんし、大きな岩が流れるほどの勢いであふれ、すごい音とどく流が怖かったです。その怖さを忘れず、次の教訓にするためマップ作りをしました。工夫した点は三つあります。一つ目は雨の降り始めからの雨雲の動きや地形的な情報など科学的データを調べ直しました。二つ目は時間にそって実際の家族や地域の人動きをまとめた上で、消防署に評価してもらいました。三つ目は地区の地図にポイントごとの実際の写真をはり、地元の人たちにも分かりやすくしたことです。

3年の探究の時間に、災害が起こってから地域でどうするかを学びましたが、今回は実際に家でどう対応すべきだったかが分かりました。私が住む地区は、特にお年寄りの一人暮らしが多く、災害が起こってからでは身動きが取れないことも実感したので、地区全体に「早目の行動」を呼びかけたいです。



受賞者コメント



僕の住んでいる地域では、令和5年7月13日と令和3年7月29日に大雨が降りました。令和3年は自宅裏でがけ崩れが起き、大雨はとても怖いと感じました。それがきっかけで、事前に災害時集合場所までの危険箇所を確認して安全に避難しようと思いました。

防災マップを作るのに苦労した点は、どうしたら重要な情報が多くの人に伝わるか考えたことです。公衆電話がどこにあるか調べて実際に現地で使ったり、避難場所の設備を細かく調べたことです。

取り組んで分かったことは、公衆電話が減っていること、公衆電話で災害用伝言サービスが無料で使えることです。そして防災について家族で話し合う時間を持つことの大切さです。僕たちが忘れてはいけないことは、いつ災害が起きるか分からないので、事前に避難場所や危険箇所を調べて準備し、警戒心を持ち続けることだと思います。



勝山市荒土小学校6年
長尾 理愛さん

講評 (審査委員)

いつ発生するか分からない、自然災害に対する「備え」の大切さを家族みんなで考えた作品です。わが家の「安全度」を確認した上で、もし洪水や地震が発生したらどのタイミングでどこに避難すべきか、避難の際に気を付けるポイントなどを、地図やイラスト、写真でうまくまとめています。防災マップ作りを通して災害への備えの大切さを再認識し、家族の命を守る行動をしていきたいとの強い気持ちが感じられます。



受賞者コメント



自然災害はいつ発生するか推測するのが難しいです。そのため、私は日ごろから災害に備えることが重要だと考えます。「もし地震が発生したら」「もし洪水が発生したら」など、もしもの時にとるべき行動を考えておくと安心です。家族全員でひなん場所や、ひなん時に持っていくもの、危険な場所を相談して決め、マップにまとめました。

これを毎日目にすることで、とまどう時間が命取りになる災害時に、素早く適切な行動をとることができると思います。また、自分たちだけでは対応しきれない場面や誰か困っている人がいたら、助け合えることができるといいなと思います。

防災コンテストを通して、災害のおそろしさや備えることの大切さを改めて考えることができました。



福井市円山小学校2年
牧田 樹莉さん

講評 (審査委員)

ハザードマップから自宅周辺の危険を調べ、避難の方法をしっかりと考えていること、また気分があがるものを備えに取り入れた工夫は、避難生活の質を向上させてくれるアイデア。何より、ご自身がリーダーとなって家族と話し合い、防災対策を考えたことが評価されます。



福井市社北小学校6年
立野 麗衣さん

講評 (審査委員)

いざという時に役立つことがたくさん整理されています。簡易水のの作り方、公衆電話や伝言ダイヤルの使い方、マイ・タイムラインで具体的な行動を考え、「もしもの時の備え」をしています。住所を記載したご家族の写真は安否確認等にも有効で、ほかのご家族への災害対策の参考になります。





福井市清水西小学校4年
村上 心優さん

講評 (審査委員)

実体験に基づき、ご家族で「災害からのちをまもる」ために話し合い、避難する際の心がけをまとめ分かりやすいマップとなっています。実際に洪水がおきた時の様子を写真で時系列的にまとめており、臨場感が伝わってくる点も良かったと思います。



坂井市春江西小学校6年
吉村 奈々さん

講評 (審査委員)

大雨が降った後に、いつもと違うと感じたことを写真も使ってきれいにまとめてあり、分かりやすいマップになっています。自宅でも避難できることもよく分かりました。家族や友達にも「備えあればうれいなし」の気持ちを教えてあげてください。



坂井市平章小学校6年
東 津稀乃さん

講評 (審査委員)

町内の避難訓練について、毎年改善がなされている点やそれに伴って、「家族との約束」や「季節毎の持ち物チェックリスト」を分かりやすく表現したマップとなっています。夏と冬の避難時の服装についても写真等で表現されており良かったと思います。



勝山市荒土小学校6年
平鍋 安胡さん

講評 (審査委員)

自分の家や周りの危険なところをしっかりと調べて、避難することをイメージ、いろいろと分かりやすくまとめてあり、とても良い作品です。このマップで家族のみんなが同じイメージをもつことで、災害がおきても落ち着いて行動できると思います。





越前市吉野小学校6年
福田 陽菜さん

講評（審査委員）

カラフルな色使いで水害への備えが分かりやすく、マイ・タイムラインもあって、うまくまとまっています。マップを家の見える場所に貼って家族で確認するとともに、マップにある越前市防災情報も見て、繰り返しマイ・タイムラインを進化させることで、命を守るためのきっかけになるものだと感じました。



敦賀市中央小学校2年
上の の花さん

講評（審査委員）

昨年の豪雨災害に基づき、あらためて家族で話し合い、また市役所に向くなどして、実際の現状を把握しながら、わが家の防災計画の見直しをされています。その中で、特に垂直避難の重要性や、災害時の家族の安否確認方法を適切に反映した作品となっています。



越前市大虫小学校6年
川端 莉子さん

講評（審査委員）

中心に自宅と一次・広域・福祉といった避難所や近くの川の位置関係がわかる地図を、その周りに「おはしも」の約束や緊急時に持ち出すものなどの「チェックしよう!」を配置して、とても分かりやすいです。いざという時に備えて、家族でチェックしている姿が思い浮かび、頼もしいです。



永平寺町志比小学校4年
山岸 柚貴さん

講評（審査委員）

多様な災害内容を確認した上で、災害発生時に実際に取るべく具体的な行動や、みんなで守るべき約束事が記述されています。特に、災害時に避難所へ向かう避難経路の具体的な危険箇所も示されており、地域の現状をしっかりと調査確認された作品となっています。





福井市豊小学校3年
川端 佑芽さん



福井市順化小学校2年
藤本 ちなみさん



福井市美山啓明小学校3年
横山 悠大さん



福井市清水西小学校6年
橋本 泰地さん



福井市社北小学校6年
山田 媛さん



福井市社南小学校6年
藪根 鈴子さん



坂井市雄島小学校4年
中村 葉さん



坂井市三国西小学校6年
高橋 杏奈さん



福井市桑小学校4年
小林 愛奈さん



坂井市三国西小学校6年
刀祢 心春さん





坂井市平章小学校4年
高橋 都歌さん



坂井市平章小学校6年
宮村 龍さん



鯖江市北中山小学校5年
川端 千陽さん



鯖江市北中山小学校5年
田中 結士さん



坂井市平章小学校6年
山田 莉愛奈さん



坂井市平章小学校5年
高島 愛咲さん



越前市大虫小学校6年
河嶋 莉子さん



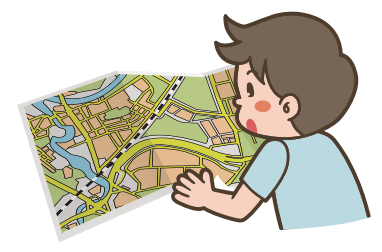
越前市大虫小学校6年
上嶋 寿幸さん



坂井市平章小学校5年
東平 愛梨さん



越前市大虫小学校6年
奥山 遥音さん





越前市大虫小学校6年
牧野 永愛さん



勝山市荒土小学校6年
木下 実緒さん



永平寺町上志比小学校4年
安部 こころさん



南越前町南条小学校4年
小谷 和奏さん



防災出前授業やってます！

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。

主催／ふくいの水防災を考える会（福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町）

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

令和5年12月発行

